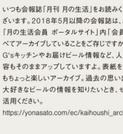
NEWS & TOPICS

お気づきですか？
定番ビールの缶にQRコードがつきました

定番ビールの缶がプチリニューアル！よなよなエールの缶の裏面のコピーを一新。そしてよなよなエール・インドの青鬼・水曜日のネコの缶の側面にQRコードを追加しました。QRコードを読み込むと、ここでしか見ることができない「コンテンツ」をお楽しみいただけます。よなよなエール・インドの青鬼・水曜日のネコの世界観にもっと浸ることができるかも。お手元の缶のQRコードはいっていますので、見つけたらぜひ読み込んでみてください。

これまで「月刊 月の生活」WEBで読めます



いつも会報誌「月刊 月の生活」をお読みくださり、ありがとうございます。2018年5月以降の会報誌は、よなよなの里本店「月の生活会員 ポータルサイト」内「会員コンテンツ」にすべてアーカイブしていることをご存じですか？
GWやクリスマス福ビール情報など、入気コンテンツの内容もそのままアップしています。表紙を眺めてみるだけでもちょっと楽しいアーカイブ。過去の思い出に浸りたいとき、大好きなビールの情報を知りたいとき、ぜひご活用ください。
https://yonasato.com/ec/kaihoushi_archive/

国	ビール	料理
ベルギー	ベルジャンホワイト	ムール貝のビール蒸し
イギリス	ポーター	ローストビーフ
アメリカ	アメリカンペールエール	ハンバーガー

こんばんは！「月刊 月の生活」編集長のうつろです。
今年も食欲の秋を心ゆくまで楽しみたいところ。
そこで今回は「ビールと料理のペアリング」のコツをご紹介します！

そもそもペアリングとは

ワイン好きの人々はもちろん、ビールに合う料理を肉料理など色の濃いワイン合う」ことばかりを考えがちです。「このタレにはこの赤ワインが合う」「この料理の相性を考えながら食事を楽しむ」というスタイルが一般的ですよね。
ペアリングを意識しながらビールと料理を合わせることで、さらに美味しく飲めるようになるのです。ペアリングを楽しむようになると、「ペアリングを意識しながらビールと料理を合わせることで、相乗効果が生まれます。実は単純に「味」だけの問題ではなく、「香り」や「色」の相性も重要なポイントになってくるのです。

似たような「色」で合わせる

ひとつめの鉄板の組み合わせは、「ビールと料理の色」を合わせること。ビールの色の濃さに合わせて、料理も同じような色合いのものを選ぶと相性がよくなります。
例えば、「ゴクうま」イザリス生まれのベルジャンホワイトには、同じくベルギー発祥のムール貝のビール蒸し。「ゴクうま」イザリス生まれのポーターには、ポークローストビーフ。
ご紹介した料理は、高確率でベストペアリングになります。このビジュアルだけでも美味しそうと思ってしまったら、ペアリングの成功率はかなり高いはず。
もちろん色が異なる料理でも、ビールと料理を食べ合わせることで生まれるペアリングを楽しむのもビールの醍醐味。ぜひいろんなビールと料理を食べ合わせながら、あなたにとっての「ベストペアリング」を見つけてみてください。
日常で楽しみたいビールや食材は、すべて揃えられなくても大丈夫。「ムール貝のビール蒸し」は、ムール貝の代わりにあさりを使ってもおいしいです。
食材ごとに相性と言われる大定番「ムール貝のビール蒸し」はアサリで代用してもおいしいです。

「発祥国」を合わせる

たとえばベルギー生まれのベルジャンホワイトには、同じくベルギー発祥のムール貝のビール蒸し。「ゴクうま」イザリス生まれのポーターには、ポークローストビーフ。発祥国がご紹介した料理は、高確率でベストペアリングになります。このビジュアルだけでも美味しそうと思ってしまったら、ペアリングの成功率はかなり高いはず。
もちろん色が異なる料理でも、ビールと料理を食べ合わせることで生まれるペアリングを楽しむのもビールの醍醐味。ぜひいろんなビールと料理を食べ合わせながら、あなたにとっての「ベストペアリング」を見つけてみてください。
日常で楽しみたいビールや食材は、すべて揃えられなくても大丈夫。「ムール貝のビール蒸し」は、ムール貝の代わりにあさりを使ってもおいしいです。
食材ごとに相性と言われる大定番「ムール貝のビール蒸し」はアサリで代用してもおいしいです。

「香りや味」の特徴を合わせる

ふたつめの鉄板の組み合わせは、「ビールと料理がそれ持っている「香り」や「味」の特徴を合わせること。相乗効果が生まれるのです。「ビールと料理の特徴をさらに楽しむ」ためには、ビールと料理の「香り」や「味」に、自身魚のハーブ系しが好ましいでしょう。
また、「香りや味」の特徴を合わせるのもうひとつのヒントです。苦味が目立つビールに合わせる場合は、「パンチの効いた料理でいい」など、料理の特徴を際立たせるようなお酒を選ぶのがおすすめです。
ニックのとっておき、苦味が目立つビールに合わせる場合は、「パンチの効いた料理でいい」など、料理の特徴を際立たせるようなお酒を選ぶのがおすすめです。
結構度数のいくつかのビールに合う料理も変わってくるので、ビールに合う料理を作る際は、「ビールの特徴」を意識しながら、「薄味の場合は、「濃い味のビールには、「濃い味の場合は、「濃い味のビールには、「濃い味の場合は、「濃い味のビールには、「濃い